

兵庫県川西市 病院事業会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

1 経営健全化計画の平成 30 年度実施状況

（1）計画と具体的な措置の状況

① 診療体制の充実（前年度末比）

- ・ 内科医師の確保 1人増
- ・ 地域包括ケア病棟の実施（平成 30 年 11 月から）

② 医業収益増収に関する改善額

- ・ 休床中病棟の再開による稼働病床の拡充
休床中病棟（3階南病棟）の再開等を平成 27 年 5 月に実施し、稼働病床を従前の 199 床から 234 床とした
- ・ 救急車搬送患者の積極的受入れ、時間外救急患者対応時の適正対応、受入れ可能症状（疾患）の拡大
- ・ 分べん費用減額改定
分べん費用の平均が約 54 万円から約 48 万円になるよう減額
分べん件数比較 前年度比 58 件減
- ・ 認知症ケア加算 1（平成 30 年 2 月から）
平成 30 年度実績 約 409 万 6 千円増収
- ・ 悪性腫瘍病理組織標本加算（平成 30 年 4 月から）
平成 30 年度実績 約 19 万 2 千円増収
- ・ 医療安全対策地域連携加算 1（平成 30 年 4 月から）
平成 30 年度実績 約 191 万 6 千円増収
- ・ 抗菌薬適正使用支援加算（平成 30 年 4 月から）
平成 30 年度実績 約 383 万 2 千円増収
- ・ その他の増収策
地域包括ケア病棟の実施（平成 30 年 11 月から）

③ 医業費用抑制に関する改善額

- ・ 賞与等引当金繰入額の抑制
賞与等引当金繰入額が減 約 1 億 9,416 万円減
- ・ 材料費の見直し
患者数の減により、薬品費や診療材料費の減 約 2 億 132 万円減

④ その他の取組み

- ・ 病院機能評価の更新
平成 30 年 5 月に日本医療機能評価機構から再認定
- ・ 病院機能評価緩和ケア病棟機能種別評価の認定
平成 31 年 1 月に日本医療機能評価機構から認定

- ・医療被ばく低減施設の認定
平成 30 年 7 月に日本診療放射線技師会から認定
- ⑤ 一般会計からの支援
 - ・病院経営安定化支援補助金 8.5 億円

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 27 年度)	平成 28 年度 (第 2 年度)	平成 29 年度 (第 3 年度)	計画最終年度 (平成 30 年度)
当初計画 A		346,000	17,000	△92,000	149,000
解消実績額 B		401,956	△52,923	△119,432	218,110
現在計画 C		401,956	△52,923	△119,432	218,110
B-A 又は C-A		55,956	△69,923	△27,432	69,110
資金不足額	1,018,360	616,404	669,327	788,759	570,649

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 27 年度)		平成 28 年度 (第 2 年度)		平成 29 年度 (第 3 年度)		計画最終年度 (第 30 年度)		備考
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
資金不足比率	25.8	15.1	13.8	13.3	14.0	14.9	16.9	11.8	14.1	医業収益及び資金不足解消額が計画値に届かなかったため。

※ 「備考」欄には、当該年度（平成 30 年度）の計画値と実績値の差異の理由について記載している。

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

引き続き、認定看護師等の育成を図るとともにチーム医療を推進することで、診療報酬上の加算算定に繋げている。

2 今後の公営企業の経営の方針

平成 31 年 4 月 1 日より指定管理者制度を導入し、指定管理者である医療法人協和会が管理・運営を行うこととした。